NIE実践報告

1．タイトル：**新聞記事を作成しよう**

2．学校名

**熊本県立熊本商業高等学校**

3．実践者名（代表者名）

**緒方祥　松岡亜紀子**

4．学年

**第3学年**

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

**国語・国語表現Ⅰ　15人**

6．単元（本時の学習課題）名

**「新聞記事を作成しよう」（作成した記事を発表する）**

7．目標(狙い)

**PISAのデータを用いて、日本の学生の学力低下に関する資料をもとに新聞記事を作成する。このことを通して、伝えたいことを明確にし、適切の表現できる方法を身につける。**

8．評価の視点

**①作成した記事のスタンスが明確になっているか。　②今回の記事で課題として主張したいことが明確になっているか。　③解決策が掲載されているか。　④表現上工夫した点などを評価の対象とする。**

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

**①小論文入門―「読む」から「書く」へ、②話すこと・聞くこと入門、③メディア入門、④私たちの句集作り、⑤小論文の技術、⑥新聞を活用した表現力の向上ーなどのテーマに取り組んできた。**

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

**今回の単元は6時間で構成した。これまでの5時間で、PISAのデータ配布、問題点の洗い出しと明確化、課題の把握と立場の明確化、記事の作成とレイアウトの検討、プレゼンテーション資料の作成、本時限の詳細は次のとおりである。**

**導入（5分）**

**学習活動―本時の発表手順についてに確認（前述の「評価の視点」に沿った発表となるように配慮）**

**展開（25分）**

**制限時間5分（準備・交代時間含む）で5班の発表を行う。（発表にはプロジェクタを使用する）**

**まとめ（20分）**

**実際の新聞記事（4社分）と自分たちの記事を比較し、気付いたことを班で話し合う。また、その内容について各班の代表者が簡潔に発表する。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

**自分たちが作成した新聞記事と4社の記事と比較する中で、見出しの付け方、原因の分析、解題の洗い出しなど、自分たちが苦労した内容が簡潔にまとめられていることに気付かされた。しかし、新聞記者から「初めてとは思えない構成力と表現力はすばらしい。」と講評を頂き、新聞に対する興味が深くなっている。**

12．成果と課題

**本年度からのNIE実践校としての指定を受け、国語表現Ⅰの授業で新聞を活用した授業を取り入れた。これまでにも、各社のコラム欄を教材として活用することは多かったが、今回のように6時間分の単元として扱ったのは初めてである。生徒たちの感想にもあるように、新聞を身近に感じることができたようである。また、同じ内容の記事でも、各新聞社でとらえ方が違うことに興味を持ち始めている。次年度の課題としては、この教材を学年全体に広げるとともに、学校全体で取り組める内容（新聞検定の受験やコラム要約の宿題）を検討していくことである。**